



1. 『隔週他人の映画』の予告編こと、『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の サンプル号』

●はじめに

『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』とは、知る人ぞ知る『隔週他人の映画』の予告編である。

次ページから始まる本編の『隔週他人の映画』とは「日本一の活字師、よしおとよしこが47都道府県のレンタルビデオ屋を隔週で渡り歩き、店内で見繕った赤の他人が1本目に借りた映画を真似っこ鑑賞し、感想文とレンタルビデオ屋巡業の愚痴を赤裸々に綴った魂の記録」かな？

その予告編たる『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』では、よしおとよしこが「次に巡業する街」や「選ばれし赤の他人」、「レンタルされた映画」などを、本編の『隔週他人の映画』の発表前にコッソリ発表しちゃう無料の暴露物である。

つまり、毎月第1、3木曜発行の『隔週他人の映画』の

○目次1が「1. 『隔週他人の映画』の予告編こと、『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』」で、毎回無料の試し読みページ。

○目次2が「2. 『隔週他人の映画』」で、毎回有料ページ（各回210円。『隔週他人の映画 サンプル号』のみ無料！）。

となっております、基本的に、たぶん。

●他人の映画ハンターこと、日本一の活字師よしおとよしこのプロフィール

1975年、日本生まれ。東京大学医学部受験中（17浪目）。

ベテラン受験生だけでは家族を養えないので、世界一の活字屋の顔も持つ。主に、映画とは一切無関係な媒体を中心に大活躍気分。

男、三十路を過ぎて、今までに観た映画は3本。

そんな控えめなフレッシュさを買われて、日本各地のレンタルビデオ屋を隔週で巡業するハメに…。

「超面倒臭え」が口癖。

まあ、ココに全裸写真を載せないのですバリ言い切りますが、俺は超イケメンで身長は170、いや、やっぱ今日は185cmで。じゃあ、本日の座高は80cmくらいかな。

体重、スリーサイズ、アソコはビックサイズ等々は全部ヒ・ミ・ツの謎めいた美少年です。

こんな素敵な男性自身はめったにいないので、是非、結婚してください。

男女は問いませんが、外見にはすごいこだわります。

さっ、公開無差別プロポーズはこのへんにして、いきなり本編の『隔週他人の映画』の詳しい手順を発表しちゃうぞ。

「宇宙一の活字家、よしおとよしこが隔週で全国のレンタルビデオ屋を神出鬼没巡業」→「店内でめぼしい赤の他人を探す（美人希望）」→「店内尾行中で～す」→「赤の他人美人が1本目に選んだ映画も凝視」→「電車で自宅の最寄り駅まで」→「近所のレンタルビデオ屋で、例の映画を真似っこレンタル」→「コンビニに立ち寄ってからブラブラ帰宅後、『ああ、今頃、あの赤の他人美人も同じ映画を見てるかなあ』と他事を考えながら、映画鑑賞。一日の疲れが出て、すぐにうつらうつら。今日もお疲れ様！」→「後日談。返却を忘れて」→「かさむ延滞金」→「自己破産」。

以上、この最低最悪のシナリオの一部始終をドキュメンタリータッチで記しながら、映画の感想文も書くわけ。

だって、オイラはしがない日雇い文字書き稼業だから。

さ～て、今回の『隔週他人の映画』の巡業先は、アナタの町のレンタルビデオ屋で、赤の他人に選ばれたのはアナタかもしれない！

●本文

『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の サンプル号』（2010年10月21日（木）創刊）

【サンプル号の目次】

1、創刊のご挨拶

～～～『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』が緊急創刊された深いワケ～～～

2、『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』のサンプル号の神髓を見よ！

～～～要は『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の 第1回』の第一稿をサンプル号代わりにするってどこかで聞いたような話～～～

3、締めクイズこと、『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』の「おとつあん」って一体誰のことクイズ（全員プレゼント付き）

～～～別名おとつあんクイズとも呼ばれる世界一やさしいボーナスクイズです～～～

1、創刊のご挨拶

～～『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』が緊急創刊された深いワケ～～

え、そんなこと、いきなり言っちゃっても大丈夫かなあ？

とりあえず「緊急創刊された深いワケ」の方は、いきなりはちょっとヤバそうな雰囲気なので、まずは当たり障りのない話から。

ねえねえ、『隔週他人の映画』って電子書籍（1回210円）って知ってる？

もちろん知っているって方はちょい下の【お～い、ココだよ～】までお進みください。

それに引きかえ、おい、お前ら、どうしていい年こいて、居残りなんかさせられているかくらい分かるよな？

どうして、かの有名な『隔週他人の映画』をまったく知らないんだ！ちゃんと義務教育で習ったろ？保卒か幼卒か？

一度しか言わないからよく聞きやがれ。

毎度お馴染みの『隔週他人の映画』とは日本一のベテラン書き屋さんこと、よしおとよしこが日本全国津々浦々のレンタルビデオ屋を隔週で巡回し、店内で捕獲した赤の他人が1本目に借りた映画を真似っこ鑑賞し、映画の感想文と日本各地のレンタルビデオ屋からレンタルビデオ屋への旅がらす生活の大変さなどを大々的に白日の元にさらけ出した告白記である。

せっかくコクったのに、気付かれもしないなんて...もうそんな恋はイヤ、もう怒ったもんとばかりに、鈍感なモグリ野郎専用に急遽、突貫工事でデッチあげたのが、この予告編『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』てなわけよ。

【お～い、ココだよ～】

というわけで、この『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』はわざわざタイトルで「予告編だよ」って堂々と宣言している通り、日本全土で大人気な『隔週他人の映画』の予告編である。

大予想します。

『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』ってバッチリくっきり奥まで丸見えな予告編っぽいので、本編の『隔週他人の映画』が発行されると同時に、無料で発表される感じじゃないかしらん。

もっと分かりやすく説明じゃなくて、大予想すると、

毎月第1、3木曜に、『隔週他人の映画』を発行する（1回210円）。

目次1が予告編の『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』で、試し読みページゆえに無料。

目次2が本編の『隔週他人の映画』で1回210円って感じ。

大正解！　すごい！　天才！

んで、例のヤバイと噂されていた「緊急創刊された深いワケ」ですが、もう結構お前とも親しくなったから思い切って言うけど、「特になし」みたいっすよ。

てか、「浅いワケすらねえ。単なる思いつきだ、バ～カ～」ってちょっとひどくない？　別に。

2、『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』のサンプル号の神髓を見よ！

～～～要は『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の　第1回』の第一稿をサンプル号代わりにするってどこかで聞いたような話～～～

『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の　サンプル号（第1回の第一稿）』
～赤の他人がレンタルビデオ屋で1本目に借りた映画をコッソリ無断鑑賞！？
47都道府県のレンタルビデオ屋を隔週で渡り歩き、命がけで挑む迫真のルポ～

【予告状】

- 今回の街...東京・渋谷
- 今回の赤の他人...ギャル
- 今回の他人の映画... ???
- 本文

赤の他人が借りる映画を求めて、ジャパンのレンタルビデオ屋を隔週で巡る、俺の一人旅。略して、『隔週他人の映画』が始まるよ！

旅立ちの地は東京・渋谷の『TSU●AYA』。尚、記念すべき一人目の赤の他人と言え、昔から“ギャル”が相場だ。「この手の小娘はどんな映画を借りるのか？」。そんな日本国民の大疑問を一身に背負い、店内を軽く流す。俺の未来予想図に反し、いるのは健全な青少年や勤め人ばかり。何となく万策尽き果てちゃって、ちょっとコーヒブレイク！

小一時間後、渋谷店内に戻ってブラブラしてたら、今までの苦労が実り、ギャルを大発見！年の頃なら未成年、山下清バりに握り飯を頬張りつつ、ある映画の棚を凝視中。そして、日サロ焼け女の右手が伸びた先にあったのは...（「目次2の有料ページ（210円）」へ続く）。

ピンポ～ンパンポ～ン」 業務連絡です。

実はコレ、宣伝文！

「ギャルが借りた映画は？ 握り飯の中身は？」な～んて続きが読みたい老若男女は、「目次2の有料ページ（210円）」へGOする仕組みです！

...世知辛いよね。

3、締めクイズこと、『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』の「おとつつあん」って一体誰のことクイズ（全員プレゼント付き）

～～～別名おとつつあんクイズとも呼ばれる世界一やさしいボーナスクイズです～～～

なんか目次の3に「（全員プレゼント付き）」との文言があって目障りなので、おとつつあんクイズの前にまずは全員プレゼントからいくぜ、準備はいいかい？ だから、パンツを脱ぐの、準備パンツ体操！

全員プレゼントとして今どきmixiに、よしおとよしこが2006年3月から2007年11月の約1年半、週刊連載していた、

『週刊半袖クン日記 全88回』

http://mixi.jp/show_profile.pl?id=3469801

てのが思いっきり死んでいるので、死体プレゼント！

尚、友達0人でmixiを見られない特異体質な方は以下のよしおとよしこのホームページ、『よしおとよしこのよしおとよしこ！』

<http://blog.livedoor.jp/yoshiotoyoshikono/>

にも期間限定ながら無料にて、今までよしおとよしこが書き散らした三日坊主ブログの死体や書きかけのメルマガ生霊、書き損じた電子書籍ゾンビやらがゴロゴロウヨウヨ転がっているの、よろしかったらそちらも適当に死姦したり、ご参考にしたりしてくださいな。あ、ちなみに悪さすると呪いま～す。

特別にもう一つオマケで、全員プレゼント第二弾をあげちゃいます。

実はココだけの話、予告編の『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』は、よしおとよしこがかつて某媒体にて週刊連載していた『宣伝版 週刊他人の映画』の全面改訂増補版である。

ちなみに本編の『隔週他人の映画』も、よしおとよしこがかつて某媒体にて週刊連載していた『週刊他人の映画』の全面改訂増補版だ。

尚、全面改訂増補の英訳は「リバイバル、セルフカバー、トリビュート、インスパイア、スピノフ、オマージュ、オマンコ、パクリ」等々。

「どうせお前らは、適当に横文字をズラッ〜といっぱい並べときゃ、よく分かんないけど何か納得しちゃうんだろ」という舐めた態度ではありませんのであしからず。

でもよう、大事なことはそんなんじゃない。

一番大事なのはオール旧作だろうがオール新作だろうが、著作権はすべて俺とジャイアンのものでございませう。

ココでちょっと思い出話を。

上記の『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の サンプル号』と称してお送りした、実は『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の 第1回』の第一稿はどうでしたか？

『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の 第1回』の完成原稿は、この第一稿を叩き台にし、書き直しにつぐ書き直しを重ねて、なんとか第100稿でようやく脱稿しました。

よくある話ですが、そんな苦労して作り上げた第100稿なんかよりも、あくまで叩き台としてチャッチャッとデッチあげた第一稿の方が全然よかった、な〜んてことになるかどうか見物です！

実際に、第一稿と第100稿を読み比べてみたい方は是非、来月の第1木曜、11/4発行の『隔週他人の映画 第1回』の目次1、「1. 『隔週他人の映画』の予告編こと、『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の サンプル号』」（無料の試し読みページ。目次1は毎回、永遠にタダです！）にて、しかとご確認ください。

あ、やっぱ最後に、別名おとつあんクイズいってみよ〜う！

「おとつあん」って一体誰のこと？

たまにはマジメに、いきなり正解を言います。

今で言う「お父さん」のこと。昔はお父さんのことを「おとつあん」と呼んで、その気やいい気になってたわけ。

以上、收拾をつけるのが面倒臭くなって、別に無料のサンプル号だから尻つぼみだっただけでいいやって風を装ってお送りしました、ええ、あえて。

■発行責任者：よしおとよしこ

■ホームページ：<http://blog.livedoor.jp/yoshiotoyoshikono/>

* 『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』の著作権等々はすべて、よしおとよし

ここに帰属しております、イエ〜イ！

ちょっとでも悪さしやがったら、すぐにお巡りさんや先生やお母さんに言いつけてやるからな、ヤ〜イ、お前の母ちゃん、出ベソ〜。

＊『よしおとよしこ一家の電子書籍家族紹介！』

〜よしおとよしこ一家とは日本一の電子書籍大家族を目指し、現在も絶賛子作り中の毎日で、電子書籍子供を常に量産している子沢山エロファミリーのこと〜

●長男（2010年10月11日生まれ）

『富裕層の恋人 元祖富裕層向け電子書籍第一弾はなんと... サンプル号』（毎週月曜発行。各回1億円のところ、創刊記念特価で今だけ各回3000円。更にバックナンバー割引で、発行から1ヶ月経つたびに1割引（1ヶ月後2700円、2ヶ月後2400円、3ヶ月後2100円という感じで）。但し、5ヶ月後の半額1500円で打ち止め！ 正直、5ヶ月待つ価値はない。かと言って、3000円払う価値もない。困ったね）

<http://p.booklog.jp/book/11740>

●次男（2010年10月21日生まれ）

『隔週他人の映画 サンプル号』（オマケで毎回、『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』付き）（毎月第1・3木曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/12060>

●三男（2010年11月10日生まれ）

『ドマイナースポーツ非観戦記 サンプル号』（毎週水曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/14145>

●四男（2010年12月10日生まれ）

『富裕層の本妻 元祖富裕層向け電子書籍第二弾はなんと... サンプル号』（毎週金曜発行。各回1億円のところ、創刊記念特価で今だけ各回3000円）

<http://p.booklog.jp/book/16010>

●五男（2011年1月8日生まれ）

『ラシーン飼育日記 サンプル号』（毎週土曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/17614>

○長女（2011年1月9日生まれ）

『週刊よしおとよしこ サンプル号』（毎週日曜発行。各回0円）

<http://p.booklog.jp/book/17615>

●六男（2011年1月11日生まれ）

『よしおとよしこの週替りコラム サンプル号』（毎週火曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/17618>

○次女（2011年1月30日生まれ）

『週刊よしおとよしこの電子書籍バックナンバー屋さん サンプル号』（毎週日曜発行。各回0円）

<http://p.booklog.jp/book/19623>

●隠し子（2010年9月8日生まれ、同年12月22日死んだ）

『「週刊半袖クン日記」漂流記 サンプル号?』（毎日発行（2010年9月8日（水）～同年12月22日（水）まで）。各回55円）

<http://p.booklog.jp/book/9247>

今後も出産ラッシュが予想されます。期待の電子書籍子供が目白押し予定！

次は女の子がいいなあ。でも、たぶん今度も男の子かな。

だってうちは基本、男系の大家族で現在、6男2女プラス隠し子（♂）だから。

ちなみに、「有料電子書籍は男子」で、「無料電子書籍は女子」って扱いです。

コレは新手の男女差別か、タダマンしたいという深層心理の現れとなっておるそうナ。

みんなもタダマンだタダチン好きだろうと思って、すべての有料電子書籍に無料のサンプル号が漏れなくついてます。更に、タダの試し読みページまでたくさん設けています。ホレホレ、タダマンだタダチンだがわんさか据え膳だ〜い、ヤッちゃえヤッちゃえ！

とにかく、よしおとよしこ大先生の傑作や名作が読めるのは『パプー』の各種電子書籍だけ！

ハイ、めでたしめでたし。

「うるさい、なにが『めでたしめでたし』なもんか！

大嘘つき！ よくも『よしおとよしこ大先生の傑作や名作が読めるのは「パプー」の各種メルマガだけ！』なんてことをヌケヌケと。

いや、これは違うんだ、ご、誤解だよ、落ち着いて話せば分かるから、ねっ？

...ごめんなさい。今までずっと上手に隠してきたつもりだったけど、もうこれ以上、罪の意識に耐えられない。

あのねのね、実は俺には愛すべき本宅がありながら、別宅というか愛人宅があって、そこでもコッソリ立派な家庭を営んでいたんだ。

す、すまない。

だから、そっちの愛人家族も見てね〜。

ま、畑は違うけど、種は同じだから、どっちも似たもん家族だけどさ」

* 『よしおとよしこ一家の愛人家族こと、「メルマガ家族」紹介!』

～よしおとよしこ一家の愛人家族とは日本一のメルマガ大家族を目指し、日夜せっせと愛人宅でも子作りに励み、メルマガ子供を量産している子沢山エロファミリーのこと～

●長男（2010年10月4日生まれ）

『富裕層の恋人 元祖富裕層メルマガ第一弾はなんと...』（定価月額1億円のところ、今だけ創刊記念特価で月額1万円税抜。毎週月曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001183190.html>

○長女（2010年10月7日生まれ）

『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』（月額0円税抜。毎月第1・3木曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001187591.html>

●次男（2010年10月14日生まれ）

『隔週他人の映画』（月額400円税抜。毎月第2・4木曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001186092.html>

●三男（2010年11月2日生まれ）

『「週刊半袖クン日記」漂流記』（月額800円税抜。毎週火曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001190492.html>

●四男（2010年11月3日生まれ）

『ドマイナースポーツ非観戦記』（月額800円税抜。毎週水曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001196012.html>

●五男（2010年12月3日生まれ）

『富裕層の本妻 元祖富裕層メルマガ第二弾はなんと...』（定価月額1億円のところ、今だけ創刊記念特価で月額1万円税抜。毎週金曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001215732.html>

●六男（2011年1月1日生まれ）

『ラシーン飼育日記』（月額800円税抜。毎週土曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001227133.html>

○次女（2011年1月2日生まれ）

『週刊よしおとよしこ』（月額0円税抜。毎週日曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001229810.html>

●七男（2011年1月4日生まれ）

『よしおとよしこの週替りコラム』（月額800円税抜。毎週火曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001227150.html>

*すべての有料メルマガに無料のサンプル号が漏れなくついています。

更に、登録月は1ヶ月間無料で試し読みできちゃう。しかも登録月の末日までに登録解除さえすれば、タダで丸々1ヶ月分を読み逃げできちゃいます。

待って、おいてかないで～。読み捨てするなら、せめて一緒に連れて逃げて～。

尚、今後も出産ラッシュが予想されます。期待のメルマガ子供が目白押し予定！

次は女の子がいいなあ。でも、たぶん今度も男の子かな。

だってうちは基本、男系の大家族で現在、7男2女だから。

ちなみに、「●有料メルマガは男子」で、「○無料メルマガは女子」って扱いは、新手の男女差別か、タダマンしたいという深層心理の現れとなっておるそうナ。

とにかく、よしおとよしこ大先生の大傑作や大名作が読めるのは『まぐまぐ！』の各種メルマガだけ！ 後は『パプー』の各種電子書籍とか他多数！

めでたしめでたし。

ほらね？ 言わんこっちゃないくらい、クリソツ家族でしょ？

「愛人宅が、単に本宅を猿コピペしているだけ」、「てか、本宅は『まぐまぐ！』のメルマガの方で、『パプー』の電子書籍が愛人宅なのでは？」なんて近所の噂もあるみたいだけど、本宅も愛人宅も隠し子もみんな俺の大事なファミリーだから、そこんところ、適当によしなに何卒アレしといてよ！

*各電子書籍の最新バックナンバー情報と、読者から届いた喜びの声（極々一部を抜粋）は、

●『週刊よしおとよしこの電子書籍バックナンバー屋さん』（毎週日曜発行。各回0円）の最新号にてどうぞ！

<http://p.booklog.jp/users/yoshiotoyoshiko>

2. 『隔週他人の映画 サンプル号』

『隔週他人の映画 サンプル号』（2010年10月21日（木）創刊）

【サンプル号の目次】

1、創刊のご挨拶

～～～『隔週他人の映画』が映画の世界を大きく変えます～～～

2、『隔週他人の映画』のサンプル号の神髄を見よ！

～～～要は『隔週他人の映画 第1回』の第一稿をサンプル号代わりにするって話～～～

3、『隔週他人の映画』を読むにあたっての諸注意（読者全員プレゼント付き）

～～～『隔週他人の映画』の正しい取り扱いについて懇切丁寧に解説した上に、なんと読者全員プレゼントのおまけつきって言うんだから、こりゃ、お買い得だ～～～

1、創刊のご挨拶

～～～『隔週他人の映画』が映画の歴史を変えます～～～

チィ～ス！ 元気い～？

ま、堅苦しい創刊のご挨拶はこの辺でお～わり！

その時、歴史は動いた。

2、『隔週他人の映画』のサンプル号の神髄を見よ！

～～～要は『隔週他人の映画 第1回』の第一稿をサンプル号代わりにするって話～～～

『隔週他人の映画 サンプル号（第1回の第一稿）』

～赤の他人がレンタルビデオ屋で1本目に借りた映画をコッソリと無断鑑賞！？

47都道府県のレンタルビデオ屋を隔週で渡り歩き、命がけで挑む迫真のルポ～

赤の他人が借りる映画を求めて、日本全国のレンタルビデオ屋を隔週で巡る一人旅。

略して、『隔週他人の映画』が始めるよ！

「末は博士か大臣か野次馬か」と将来を嘱望された日本一の野次馬書き屋さんこと、よしおとよしこが初陣の地に選んだのは、夜のとばりもおりた東京は渋谷。

渋谷と言え、言わずとしれたギャルの産地で、後はよく知らん。

だって渋谷に来たのは30余年の人生で2度目、しかも10年ぶりの快挙だかんね。

確か、初めての渋谷訪問のときは真昼間で、あまりの人の多さに恐怖を感じ、駅前のハチ公だけ横目で見、すぐ逃げ出したつらい過去が...

しかし、そんな渋谷トラウマとは今日でおさらばさ。

あ、はじめまして、新しい渋谷トラウマさん。

だって、夜なら真昼間より人が少ないと思ったのに...人・人・人・ギャル・ギャル男・お巡りさ〜ん！

渋谷駅前交番の警察官に「こんなさあ、駅前の一等地に犬の銅像が立っているようなオシャレな街なんかに、前世紀の遺物レンタルビデオ屋の一つや二つくらいならあるっしょ。もったいぶらずに早く教えてちょんまげ！」という旨を丁寧な敬語に訳して告げる。

国家権力にはいたって従順な俺はポリ公の言う通り、駅前のビックスクランブル交差点を渡ってすぐ、センター街入口の大きいビルにある『TSU・AYA』に無事辿り着くことに成功。

ずっと下を向いて、渋谷人と目が合わないようにしたのが勝因だ。

早く帰りたいので、さっそく3〜5階にあるレンタルビデオフロアにて、めぼしい赤の他人を探し始める。

やはり記念すべき一人目の赤の他人で、しかもせっかくの渋谷なのでやっぱギャルがいい。

ちなみにギャルとは GANGLO にちょこんと茶パツを乗っけて、四季を通して薄着のイメージのある不良少女のことだ、たぶん。

「この手の小娘は一体どんな映画を借りるのか？」。

そんな日本国民の下世話な長年の疑問、いや全国民の悲願を一身に背負った俺はギャルを発見すべく、広い店内を必死に駆けずり回った。

しかし、店内にいるのは健全な青少年や仕事帰りの会社員やOLばかり。「パンピーが俺の渋谷に来るな、なう」と小声でつぶやき、即席の渋谷人気取り。

そんなことより、俺の未来予想図によると「渋谷のレンタルビデオ屋＝ギャルわんさか」の方程式だったのに...だ、騙された、ギャル全然いねえよ、返せ、俺の青春を！

実際、すぐそのセンター街や渋谷駅前にはギャルが溢れていた。

もしや「ギャル入店禁止！」の張り紙でもあるのかと、入口に戻るがそれもなし。

もはやココまでか...無念じゃ。ご覧の通り、ついに万策尽き果てる。

並の男ならすぐ泣いちゃう場面だがこの俺は違うぜ...まだ泣かないもん。

絶対にギャルと遭遇するまでは、店内から一歩たりとも動かぬ。例えココで死すとも悔いはなし。グスン。グウ～。

男の覚悟を決めて、泣いたら、なんか小腹が空いてきちゃった。

腹が減っては戦はできぬ。

同ビル1階のス●バで小難しい名前のコーヒーと気取ったパン屑を頼む。

2階客席の窓越しにビックスランブル交差点を見下ろしつつ、コーヒブレイク。

眼下をゆくギャルの群れから、処女っぽいギャル探しなどをして時間を潰す。

小1時間後、ギャル遊びにも飽きたので、しぶしぶ店内に戻る。「もう別にギャルじゃなくてもいいや」と達観してブラブラしていたのが功を奏し、ついにギャルを発見！

この世に生を受けてから今日までの思い出の数々が走馬灯のように浮ぶ、「さっきのコーヒー苦かったなあ」、「やっぱギャルに処女はいないね」、「早く帰りたい」と。

さて、くだんの待ちギャルは年の頃なら10代後半、日に焼けた往年の織田無道似で、スレンダーな下半身デブスタイルを南の島丸出しで装う感じ。

更に個性をアピールしたいのか、店内で映画を選びながらおにぎりを頬張っていやがる。俗に言う、山下清気取りだ。

ぼ、僕はお、おにぎりのみ、乱れたこ、心をお、落ちつけて、さ、さりげなくギャ、ギャルの背後にま、回り込んだんだなあ～。

き、気分はも、もう、べ、ベテランて、店員さんなんだなあ～。

ハイ、お客様、ご報告します、鮭おにぎりでした！

え？ ああ、映画の方ですか、チッ。

なんか先程から～、鮭おにぎりギャルは『刑事コロンボ』って映画のシリーズをずっと凝視中でございます。

来た来た来た～、さっそく来やがったぜ、赤の他人が借りる映画の醍醐味ってやつがよう。

流行り映画や恋愛映画にしか縁のなさそうなギャルが、なぜ刑事映画シリーズを眺めているのか？

その答えはいろいろ考えられるが、正解は一つだ。

そう、鮭おにぎりギャルの将来の夢が女刑事だからだ！

ちょっと想像してごらん。

ギャル女刑事が鮭おにぎりを食べながら犯人逮捕したり、取調べ室で犯人のカツ丼を食べたり、署長と署内不倫したり。

「コラ、公務中になにが『署長のおいなりさんもおいし』だ、この税金泥棒め！」とギャル女刑事の外見のみから判断した忠告をしようとした刹那、ギャル女刑事が『刑事コロombo／闘牛士の栄光』を手を取った。

あら、将来の夢はギャル女闘牛士だったみたいよ。

そんなこんなで、渋谷の夜は静かに更けていったとき（サンプル号なので、渋谷から自宅までの波乱万丈の一番いい感動シーンは割愛）。

ようやく、ところ変わって俺の家。「あ〜、やっぱ我が家が一番！」との恥かしい定番セリフを吐きながら、さっそく赤の他人のギャルが俺の為に選んでくれた、エヘヘ、例の映画をずっと背負っていた真っ赤なリュックサックから取り出す。

（サンプル号の読者の皆様へ。別に万引きしたのではなく、俺は仕事のできる男なのでちゃんと抜かりなく、渋谷帰りに自宅の最寄りレンタルビデオ屋で自腹レンタルしてきたブツです。

だって、渋谷のレンタルビデオ屋で借りたら、また渋谷まで返しにいかないといけないじゃん。そもそも渋谷の例のレンタルビデオ屋には、『刑事コロombo／闘牛士の栄光』が二本も置いてなかったと思うよ。

たまたま今回は近所のレンタルビデオ屋に同じ映画があったからよかった。

でも今後、赤の他人が借りた映画が超マニアックのせいで、最寄りのレンタルビデオ屋に同じモノが置いてなかったらどうしよう。「そんなこと知りません」。そな殺生な...お助けください。「ふん、自分でどうにかしなさい」。チキショー、グレてやる！）。

一方その頃、そんな茶番は露知らず、身も知らぬ男女（俺と鮭おにぎりギャルのことだよ）が同じ頃合に、遠く離れた場所で同じ映画を偶然観るなんて、う〜ん、ロマンティック気分で再生！

まず、開始早々、犯人が分かる。

いきなりネタバレの恐れがなくなったんで、もうガンガンあらすじの方、いかせて貰います。

「引退したメキシコの英雄的な闘牛士、ルイス・モントーヤが事故を装い、長年の友であるエクトール・ランヘルを殺す。凶器は闘牛マリネロ」。

以上、だいたいこんな感じの映画でした。

親切にも殺人シーンの一部始終をご丁寧に見せてくれるので、誰にでも犯人がすぐ分かる仕組み。

さすがギャルが選んだ映画、初っ端から推理小説を最後のページから読むような暴挙炸裂。犯人探しの楽しみを返せ！ でも返されても困ります、やっぱいらねえよ。

主人公のコロンボはアメリカのロス警察本部の警部で、ヨレヨレのコートを着た冴えない中年男性。顔は落語家の故・林家三平に似てる（言論の自由万歳！）。

休暇旅行中のメキシコで交通事故を起こして登場するあたりが、目撃者は牛だけという殺人事件にとってもお似合いだね。

しかも、このおっさん、俺がちょっとトイレに行ってる間に、なぜか他国なのに捜査している始末。

「まあ、昔からアメ公はいつも自国の都合のみで、適当に大義名分をでっちあげて、他国で好き勝手する生き物だから」となぜか急に社会派ぶってみたが、ゲヘヘ、体は正直で「ヘイ、コロンボ警部、モントーヤが真犯人だよ」と画面に声援を送ってしまう。

あ、またやってもうた…。

俺は小さい頃から、映画のスクリーンに向かって、突如叫び出すという不治の病を抱えている

。

現代の医学では治療法すら分からず、未だに映画館に出入りできる体ではない。

だから30余年生きてきて、観た映画がたった3本なのだ。

まあ、特に不便は感じませんが。逆にラッキーって感じ。

「趣味：映画鑑賞」（爆笑）。

で、どうでもいいストーリーの続きは、コロンボ警部が事故のつじつまが合わない部分を台本通りにドンドン見破っていき、俺がウトウトしている間に犯人逮捕の大団円へ。

一応、ずっと居眠りしていたわけじゃない証拠に、コロンボ警部が「牛は凶器になる」とか「牛は近眼」とか、牛が聞いたらさぞ怒るだろう暴言の数々を嬉々として吐いていたことを追記しておく。

後、巻戻しボタンに感謝を捧ぐ。

いや～、ホント牛の名演技がキラリと光る映画っていいですねえ～。

牛好きにはたまらない逸品でした。

ちなみに、俺は牛が大嫌いです。んもう～。

そうそう、言い忘れるところでしたが、『刑事コロンボ』は映画ではなく、テレビドラマとのこと。

ええ、世間によくある「初回からいきなりハプニング発生！」ってやつですね。

形ばかりのお詫びのしるしに、次回からタイトルを『隔週他人のテレビドラマ』に変更して辻褃を合わせようと思いましたが、よくよく考えると真犯人は鮭おにぎりギャルなので、さっき「もうダメじゃないか、いきなりテレビドラマなんて借りちゃ！ 大事な第1回目なんだから、ちゃんと映画を借りなさい。さあ、お仕置きしちゃうぞ」と渋谷の方に向かって叱っておいたので、どうか俺に免じて許してやってください。

さあ、今回はどの街のレンタルビデオ屋に行こうかな。お次の赤の他人はアナタかもしれない！

『刑事コロンボ／闘牛士の栄光』（1975年・アメリカ）。

監督：テッド・ポスト、出演：ピーター・フォーク、リカルド・モンタルバン、ホルヘ・リヴェロ、A・マルティネス、エミリオ・フェルナンデス、ペドロ・アルメンダリス・Jr

3、『隔週他人の映画』を読むにあたっての諸注意（読者全員プレゼント付き）

〜〜『隔週他人の映画』の正しい取り扱いについて懇切丁寧に解説した上に、なんと読者全員プレゼントのおまけつきって言うんだから、こりゃ、お買い得だ〜〜

上記の『隔週他人の映画』のサンプル号と称してお送りした、『隔週他人の映画 第1回』の第一稿はどうでしたか？

ああ、まどろっこしい！

もう、こう、体の奥からムラムラムラっとしてきて、毎回210円払いたくてしょうがない気分になった？

その気にならなかつた人は不治の不感症です。

死んでも治りませんが、とある危ない薬（210円）を毎回飲み続けると治ります。どうぞお大事に。

【とある危ない薬情報】

とある危ない薬とは、え、な、なんと、この『隔週他人の映画』のことだって。

ああ、びっくりびっくり。

さて、とある危ない薬こと、『隔週他人の映画』は毎月第1、3木曜に発行されます（各回210円）。

この『隔週他人の映画 サンプル号』同様に、目次1が予告編の『予告編だよ、おとっつあん

、「隔週他人の映画」の』となっていて、いつも試し読みページゆえ、永遠に無料です！

目次2が本編の『隔週他人の映画』で、無料なんかじゃ、一文字たりとも読ませねえぜの1回210円って感じ。

以上ですよ、とある危ない薬情報は。

さてさて、11/4（木）発行予定の『隔週他人の映画 第1回』の完成原稿は、『隔週他人の映画 サンプル号』（=『隔週他人の映画 第1回』の第1稿）を叩き台にし、書き直しにつぐ書き直しを重ねて、ようやく第1000稿で脱稿しました。

まあ、よくある話ですが、そんな苦勞して作り上げた第1000原稿なんかよりも、あくまで叩き台としてチャッチャッとデッチあげた第1稿の方が全然よかった、な～んてことになるかどうかはまさに見物です！

この世紀の見世物、「サンプル号（第1稿）VS第1回（第1000稿）」を間近で観戦したい方は是非、観戦券こと、11/4（木）発行の『隔週他人の映画 第1回』（210円）を買ってください。全席アリーナ席です！

その後も毎月第1・3木曜に、210円ポッチずつ律儀に払い続ければ、ユーの下種な興味本位をもっともっと満足させられますぜ。

ねえねえ、もっとな下世話な話、タダで聞きたくない？

いかんいかん。ううん、なんでもないから忘れて。

「頼むよ～、小銭をせっせと稼いで、大赤字を少しでも補填しなきゃいけないんだから」。

あ、いえ、今のはコッチの話です。

いけないいけない、ついしちゃってたや。

でも、あんまもったいぶるのもアレなので、もしよろしかったら、やっぱコッチの話も聞きます？

そう。好きねえ～、アンタも。

コッチの話とは、実はこの『隔週他人の映画』はかつて某媒体にて、よしおとよしこが週刊連載していた『週刊他人の映画』のリバイバル版です。

もしくはセルフカバー、トリビュート、インスパイア、スピンオフ、オマージュ、オマンコ、パクリなどなどと、「どうせお前らは、適当に横文字をズラッ～といっぱい並べときゃ、よく分かんないけど何か納得しちゃうんだろ」という舐めた態度ではありませんので、わざと下手クソにまとめると、「ええ、ええ、どうせオール旧作の焼直しっすよ」。

クソ黙れ、『隔週他人の映画』様はそんな甘っちょろい代物じゃない！

そんな薄みっともない焼き直しどころか、毎晩毎晩とうさんが夜なべして、『週刊他人の映画』を徹底的にオーバーホールし、今や元の陰も形もないことはない程度に全面改訂増補版した、まったく新しい代物だ。

そうだそうだ。

うんうん。例えば、題名を見たまえ、諸君！

「週刊」から「隔週」へと大変身しているだろ。

ワオ～、本当だ、すごい！

な？ 本当だったろ。

そういう意味では『隔週他人の映画』はオール新作だ。

でもよう、大事なことはそんな細かいことじゃない。

一番大事なのはオール旧作だろうがオール新作だろうが、著作権はすべて俺とジャイアンのものでございませう。

いや、違うんだ、こ、これには深いワケがあるんだ。

実は、旧作の『週刊他人の映画』はコストパフォーマンスの面が最悪で、自腹を切って莫大な大赤字を抱えたまま連載は終了しちゃったの。

今更、バシャバシャと焼け石に水をかける感じだが、そんな負債を抱えたまま、このままずっと諦めて倒産するのもアレなので、小銭集めに手を出した次第。

んで、小銭をせっせと集めて大赤字を少しでも改善できるかどうかは、すべてア・ナ・タの小銭次第！

カモン、チャリ～ン！

しかも、アナタの毎回210円で、今や絶滅寸前危惧種と呼ばれる、全国各地でひっそりと生息するレンタルビデオ屋を1分1秒でも長く延命させられるのです。延命治療万歳！

前世紀、20世紀末に短い栄華のときを駆け足で極めたレンタルビデオ屋は、21世紀初頭には転落の坂道をコロコロと転がり始め、体力のないものから順にバタバタと倒産していき、かろうじて生き残っているものも今やほとんどが棺桶に片足を突っ込んでいます。

来るべきレンタルビデオ屋がない世界——。

それは「ネットで借りて、自宅に届き、ポストに返却」という超便利なネット宅配レンタルな世界である。

てか、もうそれすら面倒臭いから、既にもうレンタルダウンロードとかあんのか？

いちいち調べる気はない。

だって、どんなに便利なレンタルシステムができたって、俺は映画なんか見ないも〜ん。
バリバリの無修正エロ無料動画オンリー派だから。

ぶっちゃけ、レンタルビデオ屋なんかがどうなろうと別に一切関係ないし〜、全部潰れたって「あ、そう」って感じ〜（本音完）。

緊急追伸

あのねえ、そういう身も蓋もないことをサンプル号で言わないの。

世の中のすさまじい勢いのハイテクっぷりのおかげで、確かにいろいろすげえ便利になったけど、いくらハイテクが進んだって絶対できないことはある。

例えば、どんなに進化したハイテクをもってしても、赤の他人がどんな映画を借りたかまでは分からない。

アナログなレンタルビデオ屋でならいとも簡単に、肉眼で赤の他人がどんな映画を借りたか観察できるのに。

分かった分かった、落ち着け、興奮して皆まで言うな。

そりゃ確かに「この映画を借りた人はこんな映画も借りてます」みたいな一覧がバツ〜と出てきて、さすが進化したハイテク、できないことはない！

だけども、そういう正論を言い出すとキリがないでしょ、話がちっとも前に進まないのよ。

いいのいいの、「人間味のないハイテクはとにかくダメったらダメ！ 生身の人間と人間同士の温かい交流がとにかく一番。中出し万歳！」とか何とか適当なさえ言っとけば丸く収まるんだから。

もっと肩の力を抜いて、レッツ・大人！

ん、でも、ハイテクじゃ、赤の他人が借りた映画は分かっても、その赤の他人本人がどんな人かまでは分からないんじゃない？

ハイテク、破れたり！

もち、赤の他人本人が選びに選び抜いた割には微妙な顔写真や、まったく別人みたいなアバターくらいは借りた映画と一緒に載せられるでしょうけどね（ハイテク蘊蓄はココまで！ もう限界！ 後は、ハイテクオタクにパス！）。

とにかく、アナログなレンタルビデオ屋で実際にマジマジと赤の他人どもを至近距離で観察しなきゃ分からないことがあるったら、あるの！

アナログならば、「ウワッ、ホッペに鼻クソついてんじゃん、エンガチョ！」とか「怖っ、コイツ、ずっと『騎乗位』って小声で囁いてるよ」とか「なんかドブ臭い。家の風呂、ドブ？」とか「ゲッ、腕と腕が触れ合っちゃったよ、カエル肌だ...」とか「触覚が限界です。さすがに味覚は勘弁してください。いや、マジで絶対ムリだから...ペッペッ、ゴキブリ味だ、オエ〜」などの5感をフル活用できる。

更にプラスで「あ、こっちのヤクザ様は、実に生まれも育ちも極悪そうな雰囲気醸し出していらっしゃる」とか「でも、意外とチンコ小さそう。ワッ、睨まれた、逃げろ！」なんて第六感まで使える。

つまり、アナログならば五感プラス第六感まで総動員して至近距離で観察できるから、赤の他人の生情報が続々と極秘入手できるんだぜ。

少なくとも嗅覚・触覚・味覚、第六感ではまだまだ負ける気がしないぜ。

どうだ、今度こそ参ったか、ハイテク！

オッ、今、なんか俺、すげえいいこと言ってない？ いかんいかん、ちんこまんこうんこ。

まとめると、つまり君たちは「ネットで借りて、自宅に届いた赤の他人の生情報を、いちいちポストに返却するのは面倒臭い」ってことだろ。

よし、分かった。じゃあ、俺が代わりに赤の他人の生情報を電子書籍に乗せて届けてやるから、毎回買いなさい。

毎度ありがとうございます、ご会計は1回210円になります。

もちろん電子書籍ならいちいちポストに返却しなくてもいいから、大事にとっておいて末永く家宝にでもしなさい。

え〜、只今、強引な展開がございましたが強引ついでに、え〜、世の中にはまだまだ、レンタルビデオ屋に実際足を運んで見なければ分からないことがたくさんあります。うんうん。

そんなレンタルビデオ屋ならではこそその醍醐味を、よしおとよしこが野次馬根性だ覗き根性だを丸出しにし、赤の他人の生情報（鼻クソ、騎乗位、ドブ、カエル肌、ゴキブリ味、ヤクザ、粗チンなど）を実況中継風にお伝えしながら、どんな映画を借りたかまで大暴露しちゃいます、毎回210円で。

しかも読者サービスで、赤の他人セレクトの映画をマジメに鑑賞して、感想文まで書く至れり尽くせりぶり。

だから、一緒ががんばって、赤裸々な人間模様が繰り広げられる絶滅寸前のレンタルビデオ屋

の生き様を後世に残そうよ。

そんで、「さすが21世紀人、映画（失笑）なんて観てるんだ。このレンタルビデオ屋って何だよ、超遅れてる〜。しかも赤の他人を店内尾行なんて趣味悪い」などと数世紀先の末裔どもに笑いものにされればいいさ。

き、貴様ら、目上の人間に対して何たる無礼を...キッ〜、末代まで、いや、末代を呪ってやる！

ちょっと待った！ 本格的に呪い始める前に、目次の3が「、『隔週他人の映画』を読むにあたっての諸注意（読者全員プレゼント付き）」となっていて超目障りなので、おとつつあんクイズの前にまずは読者全員プレゼントからいくぜ、準備はいいかい？

だから、パンツを脱ぐの、準備パンツ体操！

読者全員プレゼントとして今どきmixiに、よしおとよしこが2006年3月から2007年11月の約1年半、週刊連載していた、

『週刊半袖クン日記 全88回』

http://mixi.jp/show_profile.pl?id=3469801

てのが思いっきり死んでいるので、死体プレゼント！

尚、友達0人でmixiを見られない特異体質な方は（小耳情報によると最近友達0人でも見れるらしいけど、クソどうでもいいけどね）、以下のよしおとよしこのホームページ、

『よしおとよしこのよしおとよしこ！』

<http://blog.livedoor.jp/yoshiotoyoshikono/>

にも期間限定ながら無料にて、今までよしおとよしこが書き散らした三日坊主ブログの死体や書きかけのメルマガ生霊、書き損じた電子書籍ゾンビやらがゴロゴロウヨウヨ転がっているの、よろしかったらそちらも適当に死姦したり、ご参考にしたりしてくださいな。

あ、ちなみに悪さすると呪いま〜す。

じゃあ、やっぱ最後に、おとつつあんクイズいってみよ〜う！

「おとつつあん」って一体誰のこと？

たまにはマジメに、いきなり正解を言います。

今で言う「お父さん」のこと。

昔はお父さんのことを「おとつつあん」と呼んで、その気やいい気になってたわけ。

以上、收拾をつけるのが面倒臭くなって、別に無料のサンプル号だから尻つぼみだっというや

って風を装ってお送りしました、ええ、あえて。

しかも、ところどころ、目次1の『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』のこピペプレイだったし。

シッ～。

■発行責任者：よしおとよしこ

■ホームページ：<http://blog.livedoor.jp/yoshiotoyoshikono/>

*『隔週他人の映画』と『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』の著作権等々はすべて、よしおとよしこに帰属しております、イエ～イ！

ちょっとでも悪さしやがったら、すぐにお巡りさんや先生やお母さんに言いつけてやるからな、ヤ～イ、お前の母ちゃん、出ベソ～。

*『よしおとよしこ一家の電子書籍家族紹介！』

～よしおとよしこ一家とは日本一の電子書籍大家族を目指し、現在も絶賛子作り中の毎日で、電子書籍子供を常に量産している子沢山エロファミリーのこと～

●長男（2010年10月11日生まれ）

『富裕層の恋人 元祖富裕層向け電子書籍第一弾はなんと... サンプル号』（毎週月曜発行。各回1億円のところで、創刊記念特価で今だけ各回3000円。更にバックナンバー割引で、発行から1ヶ月経つたびに1割引き（1ヶ月後2700円、2ヶ月後2400円、3ヶ月後2100円という感じで）。但し、5ヶ月後の半額1500円で打ち止め！ 正直、5ヶ月待つ価値はない。かと言って、3000円払う価値もない。困ったね）

<http://p.booklog.jp/book/11740>

●次男（2010年10月21日生まれ）

『隔週他人の映画 サンプル号』（オマケで毎回、『予告編だよ、おとつつあん、「隔週他人の映画」の』付き）（毎月第1・3木曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/12060>

●三男（2010年11月10日生まれ）

『ドマイナースポーツ非観戦記 サンプル号』（毎週水曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/14145>

●四男（2010年12月10日生まれ）

『富裕層の本妻 元祖富裕層向け電子書籍第二弾はなんと... サンプル号』（毎週金曜発行。各回1億円のところで、創刊記念特価で今だけ各回3000円）

<http://p.booklog.jp/book/16010>

●五男（2011年1月8日生まれ）

『ラシーン飼育日記 サンプル号』（毎週土曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/17614>

○長女（2011年1月9日生まれ）

『週刊よしおとよしこ サンプル号』（毎週日曜発行。各回0円）

<http://p.booklog.jp/book/17615>

●六男（2011年1月11日生まれ）

『よしおとよしこの週替りコラム サンプル号』（毎週火曜発行。各回210円）

<http://p.booklog.jp/book/17618>

○次女（2011年1月30日生まれ）

『週刊よしおとよしこの電子書籍バックナンバー屋さん サンプル号』（毎週日曜発行。各回0円）

<http://p.booklog.jp/book/19623>

●隠し子（2010年9月8日生まれ、同年12月22日死んだ）

『「週刊半袖クン日記」漂流記 サンプル号?』（毎日発行（2010年9月8日（水）～同年12月22日（水）まで）。各回55円）

<http://p.booklog.jp/book/9247>

今後も出産ラッシュが予想されます。期待の電子書籍子供が目白押し予定！

次は女の子がいいなあ。でも、たぶん今度も男の子かな。

だってうちは基本、男系の大家族で現在、6男2女プラス隠し子（♂）だから。

ちなみに、「有料電子書籍は男子」で、「無料電子書籍は女子」って扱いです。

コレは新手の男女差別か、タダマンしたいという深層心理の現れとなっておるそうナ。

みんなもタダマンだタダチン好きだろうと思って、すべての有料電子書籍に無料のサンプル号が漏れなくついてます。更に、タダの試し読みページまでたくさん設けています。ホレホレ、タダマンだタダチンだがわんさか据え膳だ〜い、ヤッちゃえヤッちゃえ！

とにかく、よしおとよしこ大先生の傑作や名作が読めるのは『パプー』の各種電子書籍だけ！

ハイ、めでたしめでたし。

「うるさい、なにが『めでたしめでたし』なもんか！

大嘘つき！ よくも『よしおとよしこ大先生の大傑作や大名作が読めるのは「パプー」の各種

メルマガだけ！』なんてことをヌケヌケと。

いや、これは違うんだ、ご、誤解だよ、落ち着いて話せば分かるから、ねっ？

...ごめんなさい。今までずっと上手に隠してきたつもりだったけど、もうこれ以上、罪の意識に耐えられない。

あのねのね、実は俺には愛すべき本宅がありながら、別宅というか愛人宅があって、そこでもコッソリ立派な家庭を営んでいたんだ。

す、すまない。

だから、そっちの愛人家族も見てね～。

ま、畑は違うけど、種は同じだから、どっちも似たもん家族だけどさ」

* 『よしおとよしこ一家の愛人家族こと、「メルマガ家族」紹介！』

～よしおとよしこ一家の愛人家族とは日本一のメルマガ大家族を目指し、日夜せっせと愛人宅でも子作りに励み、メルマガ子供を量産している子沢山エロファミリーのこと～

●長男（2010年10月4日生まれ）

『富裕層の恋人 元祖富裕層メルマガ第一弾はなんと...』（定価月額1億円のところ、今だけ創刊記念特価で月額1万円税抜。毎週月曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001183190.html>

○長女（2010年10月7日生まれ）

『予告編だよ、おとつあん、「隔週他人の映画」の』（月額0円税抜。毎月第1・3木曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001187591.html>

●次男（2010年10月14日生まれ）

『隔週他人の映画』（月額400円税抜。毎月第2・4木曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001186092.html>

●三男（2010年11月2日生まれ）

『「週刊半袖クン日記」漂流記』（月額800円税抜。毎週火曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001190492.html>

●四男（2010年11月3日生まれ）

『ドマイナースポーツ非観戦記』（月額800円税抜。毎週水曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001196012.html>

●五男（2010年12月3日生まれ）

『富裕層の本妻 元祖富裕層メルマガ第二弾はなんと...』（定価月額1億円のところ、今だけ創刊記念特価で月額1万円税抜。毎週金曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001215732.html>

●六男（2011年1月1日生まれ）

『ラシーン飼育日記』（月額800円税抜。毎週土曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001227133.html>

○次女（2011年1月2日生まれ）

『週刊よしおとよしこ』（月額0円税抜。毎週日曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001229810.html>

●七男（2011年1月4日生まれ）

『よしおとよしこの週替りコラム』（月額800円税抜。毎週火曜発行）

<http://www.mag2.com/m/0001227150.html>

*すべての有料メルマガに無料のサンプル号が漏れなくついています。

更に、登録月は1ヶ月間無料で試し読みできちゃう。しかも登録月の末日までに登録解除さえすれば、タダで丸々1ヶ月分を読み逃げできちゃいます。

待って、おいてかないで～。読み捨てするなら、せめて一緒に連れて逃げて～。

尚、今後も出産ラッシュが予想されます。期待のメルマガ子供が目白押し予定！

次は女の子がいいなあ。でも、たぶん今度も男の子かな。

だってうちは基本、男系の大家族で現在、7男2女だから。

ちなみに、「●有料メルマガは男子」で、「○無料メルマガは女子」って扱いは、新手の男女差別か、タダマンしたいという深層心理の現れとなっておるそうナ。

とにかく、よしおとよしこ大先生の大傑作や大名著が読めるのは『まぐまぐ！』の各種メルマガだけ！ 後は『パブー』の各種電子書籍とか他多数！

めでたしめでたし。

ほらね？ 言わんこっちゃないくらい、クリソツ家族でしょ？

「愛人宅が、単に本宅を猿コピペしているだけ」、「てか、本宅は『まぐまぐ！』のメルマガの方で、『パブー』の電子書籍が愛人宅なのでは？」なんて近所の噂もあるみたいだけど、本宅も愛人宅も隠し子もみんな俺の大事なファミリーだから、そこんところ、適当によしなに何卒アレしといてよ！

*各電子書籍の最新バックナンバー情報と、読者から届いた喜びの声（極々一部を抜粋）は、

- 『週刊よしおとよしこの電子書籍バックナンバー屋さん』（毎週日曜発行。各回0円）の最新号にてどうぞ！

<http://p.booklog.jp/users/yoshiotoyoshiko>

毎月第1・3木曜発行！『隔週他人の映画 サンプル号』

<http://p.booklog.jp/book/12060>

著者：よしおとよしこ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yoshiotoyoshiko/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/12060>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/12060>